

株式会社 桑田板金製作所

材料の自動供給装置稼働で
24時間無人加工に対応

納期相談
企画力
自信有
コスト
相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



高度な板材加工技術で製作した油煙集塵装置の筐体

主な事業内容

鉄・ステンレスを中心とした
金属の板金加工

主な取引先(納入先)

工作機械関連、半導体製造装置、
防災機器などのメーカー

主な製品

油煙集塵装置、半導体製造装置用部品、
金型温度調節機など

業務内容
油煙集塵装置や半導体
製造装置向けが得意

桑田板金製作所は、鉄やステンレスの板材加工を手がける。厚さ0.8〜3.2mmの薄板を切り抜き・折り曲げ・溶接加工し、工作機械に接続する油煙集塵装置や半導体製造装置などの筐体やカバーなどの製品に仕上げ、得意先に納入する。

同社の創業は約50年前の昭和48年。

桑田英一現社長の父親である桑田有現会長が、技術者として勤務していた金属加工会社から独立して立ち上げた。桑田社長が二代目として経営を引き継いだのは8年前の50歳の時。「私自身は現場経験がなく、もっぱら営業に徹しています」と話す。溶接をはじめ板金加工技術は、創業者から現場の技術者たちに伝承されていったものだ。

強み
専門チームをつくり
自社で検査実施

同社の強みは、図面を確認した後
の加工プログラムの作成、切り抜き・
曲げ・溶接加工、そして製品の検査
に至るまで、表面処理を除き、自社で
一貫作業ができること。特に検査は
専門チームを設置して自社内で実施

社長あいさつ



代表取締役
桑田 英一さん

当社の企業理念は二つです。一つ目は「技能の追求」です。板金加工のプロとして多種多様なニーズに応えられるよう奮闘しています。もう一つは「共存共栄」です。お客様、協力先様とともに栄えることが、当社の存在意義と価値を示し、また、信頼されるものづくり企業のあり方だと確信しています。

主な保有設備

- レーザパンチプレス複合機 LC-1212C1NTほか アマダ製 2台
- ターレットパンチプレス PEGA-357ほか アマダ製 2台
- 材料自動供給装置 MP-1212NFほか アマダ製 2台
- バンダー FMBII-3613NTほか アマダ製ほか 6台
- 半自動溶接機 YM-160SL7ほか パナソニックコネクト製ほか 6台

大阪
05

住 所／〒577-0065
東大阪市
高井田中5-8-4
T E L／06-6783-6252
F A X／06-6782-0445
創 業／昭和48年3月
設 立／昭和48年3月
資本金／2,000万円
従業員／18名

関係強化
試作品の製作にも
積極的に取り組む

しており、「同業で検査まで自前で対応できるところは少ない」と桑田社長は胸を張る。これは納期短縮・コスト低減への大きな武器となっている。

もう一つの強みが、自動化による量産体制の確立である。切り抜き加工用のレーザパンチプレス複合機やターレットパンチプレスには、材料の自動供給装置を接続しており、24時間無人運転を可能にしている。

工場内の作業場を切り抜き・曲げ・溶接などの工程別に分け、それぞれの場所に専門の技術者を適切に振り分けている点も大きな特徴だ。製造工程での金属くずなどの付着を防止し、技術者もストレスなく作業ができる。各工程には社内ネットワークを通じて作業状況などのデータが送られる。

同社は、量産品だけでなく、試作品の製作にも積極的に取り組んでいる。新製品をまず試作し、様々な改良点を提案することで顧客との結び付きを強化できるからだ。「これからも、どんどん提案していきたい」と桑田社長は意欲的だ。



東大阪に構える本社の外観



鋼板材料の自動供給装置



<http://www.kuwata-kb.co.jp/>